Year: 2021
Location: Japan
Program: 図書館

新静岡県立中央図書館

東静岡駅前の東西軸、南北軸を形成するために、隣接する磯崎新氏設計のグランシップに呼応する高層の図書館を計画した。駅から伸びるペデストリアンデッキは図書館を貫通し、南側の遊歩道（ブールバール）とつながっている。 書庫は階高を抑え、積層することでフロアごとに本を分類でき、目的の書庫へアクセスしやすく、管理もしやすくなる。各階をエレベーターと階段だけでなく、緩やかな斜路で有機的につなげ、その途中の広い踊り場を閲覧スペースとすることで、エレベーターに頼らない楽しい移動や居心地の良い多様な学びの場をつくりだした。 北面のファサードは駿河竹千筋細工のように繊細なカーテンウォールとし、南面は美しい青・緑色太陽光パネルで被うことにより、環境に配慮しつつシンボリックな形態とした。